

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局 スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	的場池球場等3スポーツ施設	施設類型	目的・機能
	所在地	八幡西区的場町1番2号	I	— ②
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する。		
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制	有・無	ペナルティ制	有・無
指定管理者	名称	株式会社スピナ		
	所在地	八幡東区平野二丁目11番1号		
指定管理業務の内容	1 管理運営に関する業務 ・受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・事業及び収支計画書、各種報告書の提出 ・関係機関との連絡調整 ・地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日			

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント			
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み			
(1) 施設の設置目的の達成			
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られたか（目標を達成できたか）。			
② 利用促進を目的とした施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。			
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られたか。			
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			
[所見]			
【利用人員】			
区分	R1 年度	R2 年度	前年度比較
的場池体育館	92,189 人	51,628 人	▲40,561
的場池球場	35,898 人	17,787 人	▲18,111
的場池弓道場	9,349 人	6,651 人	▲2,698
計	137,436 人	76,066 人	▲61,370
目標	151,000 人	152,000 人	
要求水準	144,000 人	144,000 人	
※ R2 ・・・評価対象年度			
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の利用者は令和元年度と比較すると、約6万人の減となり、要求水準、目標には達しなかった。主な要因として、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全ての施設が臨時休館また利用人数を制限する措置を取ったことや、緊急事態宣言が発出され市民が外出を自粛したことなどが挙げられる。 消毒液・体温計の設置、動線の確保など、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、利用者を安全に受け入れる体制を構築した。 利用者数について、主催者と綿密な打ち合わせを行い、効率的な利用調整や利用者に対する利用状況の積極的な周知活動、利用者の減少した種目を他の種目と組み合わせで体育館を利用させる取り組み等で利用者確保に努めた。 多様な教室を開催する等、利用促進に努めることで、特に若年層の参加が増加し、幅広い年代の健康増進に貢献した。 			
(2) 利用者の満足度			
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたと言えるか。			
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			

⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【施設利用について】

満足度	R1 年度	R2 年度
目標値	96.0%以上	96.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	97.7% (28.6%・69.1%)	97.1% (42.0%・55.1%)

【職員対応について】

満足度	R1 年度	R2 年度
目標値	97.0%以上	97.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	98.1% (35.1%・63.0%)	98.3% (45.6%・52.7%)

※ ・・・評価対象年度

- ・令和2年度の施設利用・職員対応の満足度について、目標数値を上回り、高い評価を得た。
- ・利用者に不愉快な思いをさせない為にも、クレーム対応マニュアルを活用した職員の教育を定期的に行う。またトラブルやクレームの再発防止のために、過去のトラブル事例等を共有する定期的な勉強会も開催した。
- ・球場グラウンド整備の技術向上を図るため、外部の講師を招き、講習会、スピナが管理した他の施設(桃園球場・大谷球場)のグラウンドキーパー同士の相互協力体制を強化する等して、施設を良好な状態に維持した。
- ・月に数回、各種目の用具点検、施設内の破損個所のチェック、修理などを行った。また駐車場・玄関・花壇・植え込みなどの清掃・剪定も定期的に行い、より安全に気持ち良く使ってもらえる施設作りに努めた。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

【維持管理経費】

(単位:円)

区分	R1 年度	R2 年度	前年度比較
委託料	2,561,025	2,600,604	39,579
修繕費	4,654,287	5,420,856	766,569
光熱水費	4,959,402	4,509,280	▲450,122

人件費	25,078,733	25,080,626	1,893
その他経費	1,034,241	1,176,300	142,059
合計	38,287,688	38,787,666	499,978
予算	38,842,429	38,883,000	

※ . . . 評価対象年度

- ・維持管理経費は、令和元年度に比べ、概ね同額となった。
- ・指定管理者企業の「多角経営」の特徴を活かし、『可能な限りの自社施工』を行い委託費の削減に努めた。また、同指定管理者が管理する桃園球場等6施設・ひびきコスモス運動場での備品・消耗品管理の徹底と併せて仕入れ時の大量一括購入により費用低減を図った。
- ・照明設備の全館LED化や空調管理を含め省エネに対する意識付けを職員一人一人が積極的に推進し、光熱水のコスト削減に努めた。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【施設使用料収入】

(単位:円)

区分	R1 年度	R2 年度	前年度比較
的場池体育館	6,351,157	5,657,470	▲693,687
的場池球場	1,528,068	1,683,724	155,656
的場池弓道場	639,861	687,600	47,739
①実収入計	8,519,086	8,028,794	▲490,292

区分	R1 年度	R2 年度	前年度比較
②減免額	10,272,393	7,165,805	▲3,106,588
③合計(①+②)	18,791,479	15,194,599	▲3,596,880

※ . . . 評価対象年度

- ・令和元年度と比較すると、実収入では約50万円の減額となった。これは、新型コロナウイルス感染症による利用者数減少に伴う収入減が影響した。
- ・主催者と協議し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を行いつつ、出来る限り多くの大会を予定通り実施できるように調整した。
- ・個人利用者の利用機会増を目的として、毎週金曜日、閉館時刻を21時から22時へ1時間延長（現在は新型コロナウイルスの影響で自粛中）するなど、積極的に収入増加につながるような努力をした。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。

② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。

③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所見]

- ・利用者の“安心・安全”“顧客満足向上”を最優先の命題と捉え、各施設、常に複数の職員を配置するなど、良好な管理運営を実現した。
- ・地元の保育園や学校部活動の利用促進を図るなど、地域との連携も積極的に行った。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されたか。

② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。

③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。

④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。

⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。

⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。

⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

[所見]

- ・職員による朝夕2回の施設内外巡回により「器具備品・設備」等の不具合箇所の早期発見・事故未然防止に努めた。
- ・“安全最優先”で施設管理運営を行っており、本社管理スタッフで行う「職場安全パトロール」「産業医パトロール」や本部スタッフによる定期的パトロールの実施、他施設での事故報告会、勉強会等で類似の災害・事故未然防止に向けた取組みを推進した。

【総合評価】

[所見]

- ・消毒液・体温計の設置、動線の確保など、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、利用者を安全に受け入れる体制を構築した。
- ・多様な教室を開催することで利用を促進し、また、設備や備品の点検、各種安全パトロールを行うことで、安全な施設づくりに努めた。
- ・球場グラウンド整備の技術向上を図るため、外部の講師を招き、講習会、スピナが管理した他の施設(桃園球場・大谷球場)のグラウンドキーパー同士の相互協力体制を強化する等して、施設を良好な状態に維持した。

[今後の対応]

- ・今後も、施設利用者や各団体等とコミュニケーションを密にし、利用者増、施設の利便性・満足度の向上に努めていただきたい。

